

# ドリコム

(証券コード: 3793)

『Wizardry Variants Daphne』滑り出し好調。成長軌道の描き直しに。

## GIR View

### ■ ハイライト

ドリコムは2024年10月29日引け後に「2025年3月期第2四半期決算」、および「特別損失の計上、および通期業績予想の修正（取り下げ）に関するお知らせ」を発表した。

決算数値（累計）は、売上高が前年同期21.1%減の4,018百万円、営業損失315百万円、経常損失354百万円、親会社株主に帰属する中間純損失1,022百万円となった。既存タイトルが弱含みであること、第1四半期リリースの『悪魔王子と操り人形』に関して減損処理を行ったこと、コンテンツ事業への投資継続が厳しい結果をもたらした。

一方、当期の業績牽引役として期待される『Wizardry Variants Daphne』が本年10月15日にリリースされ、その滑り出しは当社の想定を上回る水準にあるとのことである。

このため収益見通しの変動幅が大きく、従来示していた通期業績予想を一旦取り下げることになった。

足もとの収益構造は『Wizardry Variants Daphne』次第であり、その初動だけをもって楽観的なシナリオを描くことは早計かもしれない。

しかし、『Wizardry Variants Daphne』の課金は定期的・安定的に収入を産む仕掛けがあり、今後ユーザー数が着実に積み上がれば大きな収益ポテンシャルを秘める。当期中には『Disney STEP』のリリースも控えており、9-10月に実施されたClosed Beta Test（CBT）は好評だった模様だ。

ダウンサイドリスクが払拭されたと言い切れるわけではないが、アップサイドポテンシャルも拡大していると認識すべき時期にある。

『Wizardry Variants Daphne』が順調に推移し、第3四半期に通期業績予想がポジティブな内容で再発表されるのか、この点に注目したい。

## KEY STATISTICS



### 主要株価指数

直近株価 (2024/10/29)	¥763.00
52週高値・安値	¥1217.00/¥585.00
発行済株数 (除く自己株式)	28,710千株
時価総額	21,905百万円
PER	na倍
PBR	4.7倍
PSR	na倍
配当 (配当利回り)	¥00.00 (0.00%)

### Sector

セクター	情報通信
------	------

### 財務指標 (2025/03期予想)

売上	na
売上高営業利益率(%)	na%
売上高 EBITDA 比率(%)	na%

### Management

President	内藤 裕紀
URL	<a href="https://drecom.co.jp/">https://drecom.co.jp/</a>



## ■ 2025年3月期 第2四半期概要：既存タイトル軟化、『悪魔王子と操り人形』は減損に

2025年3月期第2四半期（累計）は、売上高が前年同期 21.1%減の 4,018 百万円、営業損失 315 百万円（前年同期は 472 百万円の利益）、経常損失 354 百万円（前年同期は 453 百万円の利益）、親会社株主に帰属する中間純損失 1,022 百万円（前年同期は 169 百万円の損失）となった。

減収の主因はゲーム事業で、主カタイトルが過去 2 年間の盛り上がりに対して落ち着いた推移に留まったことがひびいた。営業損失に至った要因は、前年度に不採算タイトルを終了したことに伴う収益改善効果があったものの、前述の既存タイトルの減収、第 1 四半期リリースの『悪魔王子と操り人形』の赤字、およびコンテンツ事業への先行投資継続による。これに伴い、『悪魔王子と操り人形』に関して減損処理を行い、特別損失 601 百万円を計上した。

## ■ 10月15日リリースの『Wizardry Variants Daphne』が想定を上回る初動

### 年度末までに『Disney STEP』のリリースも控える

ゲーム事業における新規タイトルについては明るい材料がある。

まず、10月15日リリースの『Wizardry Variants Daphne』が想定を上回る初動をみせており、当社は手応えを感じている模様だ。リリースからの累計課金高は約 7 億円（10月15日～27日の速報値）である。当タイトルの課金体型は従来のアイテム課金に比べて課金収入のスパイクが平準化される設計になっているとのことで、この結果安定的に収入を見込めるとのことである。この結果、ユーザーが積み上がるにつれて課金収入もストック化して積み上がるのが期待できるとのことである。また、海外向けにモバイルではなく PC 版を展開する計画である。

なお、『Wizardry Variants Daphne』の開発費・広告宣伝費等を補充するために株式会社日本政策投資銀行（DBJ）と収益分配請求権設定契約を締結し 5 億円を調達している。

次に、当期中にリリースを予定している「位置情報 IP タイトル」は『Disney STEP』と判明し、9-10 月に実施された Closed Beta Test（CBT）は好評だったとのことである。

また、先行投資が続くコンテンツ事業についても着実に IP の拡充が進んでおり、いよいよ 2 作品のアニメ化を決定している（『ブレイド&バスタード』および『エリスの聖杯』）。



## ■ 2025年3月期通期業績予想：一旦、取り下げ。

当社は期初に売上高 135 億円、営業利益 10 億円、経常利益 9 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 4 億円という 2025 年 3 月期通期業績予想を示していたが、今回これを一旦取り下げている。

取り下げの理由は、第 2 四半期までの業績が芳しくない一方、『Wizardry Variants Daphne』の初動が良いため、業績予想の幅が大きく広がり、市場をミスリードせずに予想数値を出すことが難しいと当社が判断したためと言える。

業績予想については、会社としての下限目標を実質的に示す方法や売上高ないし利益をレンジで示す方法などなんらかの数値を示す方法がないわけではない。このため、取り下げという選択を行うことは、投資家に業績のダウンサイドを意識させざるを得ないと言えそうだ。

一方、『Wizardry Variants Daphne』が好調な初動を継続し、当社の思惑通りの売上高を上げることができるとすれば、当社にとって長年の課題であった自社 IP による主カタイトルを抱えることになり、これを梃子に「IP×テクノロジーを軸にエンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する企業を目指す」というビジョンの実現につながっていく。

今回の業績予想の取り下げは、ダウンサイドに対する意識のみならず、アップサイドについても十分な目配りをもって受け止めるべきだと考えたい。

## ■ 今後のポイント

株価は『Wizardry Variants Daphne』のリリース以降上昇基調にある。決算発表直後の株価の反応もまずはポジティブである。

以上を踏まえると、当面の注目点は以下の諸点である。

- 『Wizardry Variants Daphne』の第 3 四半期の推移（および不具合発生の抑制と早期対処）
- 第 3 四半期の決算発表で通期業績予想が改めて提示されるのか、その水準はどうか
- 『Disney STEP』のリリースめど
- 来期以降の成長戦略

当社は現在、この数年において最も重要な転換点にある。『Wizardry Variants Daphne』の成果をしっかりと見守り、今後の成長戦略がどのように描き直されるのか注視したい。



## 財務データ（連結：四半期毎）

Figure 1 損益計算書

(百万円)

決算期	FY03/ 2020 通期	FY03/ 2021 通期	FY03/ 2022 通期	FY03/ 2023 通期	FY03/2024				FY03/2025		
					Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2
売上高	10,150	11,840	10,528	10,800	2,346	2,745	2,546	2,141	9,779	2,122	1,895
前年比	-5%	17%	-11%	3%	-20%	-4%	-1%	-12%	-9%	-10%	-31%
売上純利益	2,192	3,996	3,796	4,558	683	1,145	868	706	3,404	624	335
前年比	53%	82%	-5%	20%	-48%	-13%	-18%	-19%	-25%	-9%	-71%
売上純利益率	21.6%	33.8%	36.1%	42.2%	29.1%	41.7%	34.1%	33.0%	34.8%	29.4%	17.7%
販売費および 一般管理費	1,575	1,944	2,205	2,276	675	681	551	593	2,501	692	582
前年比	-22%	23%	13%	3%	37%	29%	-2%	-14%	10%	2%	-14%
営業利益	617	2,052	1,591	2,281	8	463	317	113	903	-67	-247
前年比	-	233%	-22%	43%	-99%	-41%	-36%	-37%	-60%	-	-
営業利益率	6.1%	17.3%	15.1%	21.1%	0.3%	16.9%	12.5%	5.3%	9.2%	-3.2%	-13.1%
経常利益	635	2,019	1,541	2,192	2	451	275	63	793	-88	-265
前年比	-	218%	-24%	42%	-100%	-39%	-42%	-62%	-64%	-	-
当期純利益	711	1,624	807	1,159	-441	272	266	6	104	-153	-868
前年比	-	128%	-50%	44%	-	-49%	142%	-186%	-91%	-	-
当期純利益率	7.0%	13.7%	7.7%	10.7%	-18.8%	9.9%	10.5%	0.3%	1.1%	-7.2%	-45.8%

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Figure 2 一株当たりデータ

(連結)

決算期	FY03/2017	FY03/2018	FY03/2019	FY03/2020	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024
発行済株式総数(千株)	14,371	28,742	28,819	28,894	28,976	29,073	29,130	29,224
EPS	29.7	-7.2	-60.5	25.0	57.0	28.3	40.7	3.6
EPS 調整後	29.7	-	-	25.0	56.9	28.3	40.6	3.6
BPS	113.2	106.7	47.9	74.2	132.9	159.1	195.7	196.3
DPS	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による



## Figure 3 キャッシュフロー

(百万円)

決算期	FY03/2017	FY03/2018	FY03/2019	FY03/2020	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024
減価償却費	214	299	462	382	627	537	269	269
営業活動によるキャッシュフロー	846	-79	78	691	3,196	1,603	2,666	-473
投資活動によるキャッシュフロー	-456	-1,958	-123	-101	-1,140	-1,766	-2,017	-2,048
財務活動によるキャッシュフロー	1,345	2,288	-271	-1,188	969	-388	659	2,413

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による

## Figure 4 財務データ

(%)

決算期	FY03/2017	FY03/2018	FY03/2019	FY03/2020	FY03/2021	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024
総資産経常利益率(ROA)	16.7	-0.4	-16.8	9.5	25.2	16.0	20.0	6.0
自己資本利益率(ROE)	35.5	-6.6	-78.3	41.0	55.0	19.4	22.9	1.9
自己資本比率	47.0	33.2	19.6	32.9	39.5	46.9	45.6	39.7

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに Global IR, Inc.作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 \*Global IR, Inc.の計算による



## 免責事項

本レポートは、掲載企業のご依頼により Global IR, Inc.が作成したものです。  
本レポートは、情報提供のみを目的としており、当該企業株式への投資勧誘や推奨を意図したものではありません。  
本レポートに記載されている情報及び見解は、Global IR, Inc.が信頼できると判断した情報源から得、または公表されたデータに基づいて作成したものです。その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。しかしながら、正確性、客観性を重視した分析を心がけ、最終的な中立性・独立性には最善の注意を払っています。また、当該企業経営者等とのディスカッション、および独自のリサーチに基づき、我々が投資家にとって重要と思われる視点を Global IR, Inc.のオリジナル・オピニオンとして提供しています。Global IR, Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。当該企業株式への最終的投資判断はあくまでも自己の判断・責任でお願いします。